

新人議員が^{めく}地域を巡る 地区自慢

久木野八駐在区

今年度より小堀孝二さんより区長を引き継がれました、“古澤勝康”さんに聞きました。

移住者の多い地区ですが、ここ数年更に増え現在290（+11外国人）世帯。この地域の自慢と言えば、牧野の中にひときわ、存在感を放つ「観音桜」。まもなく樹齢100年を迎える「観音桜」は、近くに馬頭観音様が祀られていることから地元住民の方が命名されたそうです。樹木医さんと地元の皆さん方の手厚い管理で大切に守られていました。

また、平成5年着工の俵山トンネル工事で出た土を再利用し、深い谷を公園化した岸野谷公園は、住民の憩いの場所となっているそうです。



観音桜



中央 古澤区長

立野区

今年度より中山良一さんより区長を引き継がれました、“松元一八”さんに聞きました。

この地域の自慢と言えば、『阿蘇の玄関口』の名に恥じぬ眺望で、特に「阿蘇立野ダム展望台」からの「南阿蘇鉄道」「阿蘇立野ダム」「北向山原生林」を一度に楽しめる景色は圧巻です。

平成28年熊本地震により一部休線していたものの令和5年7月15日、7年ぶりに全線運行再開した南阿蘇鉄道は今も地元住民だけでなく観光客にも愛されています。

令和6年4月より運用開始した阿蘇立野ダムは堤高87m、堤頂長197m。普段は白川の流れを遮らず、大雨で白川の水量が増えた時に下流へ流れる水量を調節する自然に配慮した流水型ダムです。

昭和44年に国の天然記念物に指定された北向山原生林は、太古の昔からほとんど人の手が入っていない手つかずの自然が残っています。

ここからの眺めは自然と人工物の共存をダイナミックに感じられます。



北向山原生林、阿蘇立野ダム、トロッコ列車